

平成 2 0 年度
会計室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 0 年度会計室予算要求総括表 1
- 2 平成 2 0 年度会計室経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3

1 平成20年度会計室予算要求総括表

【一般会計】

平成20年度要求総額 299,096千円
 (平成19年度予算額 314,474千円)
 前年度比 4.9%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
会計管理事務	33,307	43,333	10,026
会計事務集約化 事業	17,143	25,001	7,858
金融機関公金取 扱手数料等	74,133	71,582	2,551

2 平成20年度会計室経営方針

会計室は、政令市で初めてとなる区役所会計事務の本庁への全面集約化及び会計事務の民間委託化を平成18年度から段階的に進め、政令市の中でもトップクラスの小さな会計組織を実現した。

平成20年度は、現在のコンパクトな組織体制を維持しながら、会計室本来の機能を一層強化し、指導・監視機能及び資金管理機能の充実に努める。

(1) 指導・監視機能の充実

業務委託について、より競争性のある契約を促進するための仕組みづくりや、会計事務に関する検査、指導の強化などによって、財務会計事務の一層の適正化を進める。

(2) 資金管理機能の充実

効率的な資金管理に努め、運用益の増収を図る。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 特命随意契約の見直し

特命随意契約を行っている業務委託について、競争性のある入札などに移行させ、事務の適正執行及び経費の縮減を促進するための仕組みづくりを進める。

(2) 会計事務に関する検査・指導の強化

会計事務の一層の適正化を図るため、会計事務に関する検査及び指導を強化するとともに、職員への研修を実施する。

(3) 歳計現金のきめ細かな運用

歳計現金について、資金収支計画の精度向上に努め、資金状況に応じたきめ細かな運用によって運用益の増収を図る。